

幼児・学齢部会 7月 市教委の先生との懇談会の報告

H23年7月6日(水)10時～12時半

シティプラザにて 参加者 9名

7月の幼児学齢部会は、和泉市教育委員会の隅^{すみの}埜^{はんにた}先生と半仁田先生にお越し頂きました。

参加された会員さんから、ご質問・ご意見等上がり、有意義な懇談会になりました。

内容は下記の通りです。

- ・ 3月に担任の先生と言葉の先生が中学校の校長先生にお話をしに行ってくださいましたが、入学してみると全然引継ぎがされていなかった。
- ・ 地域の小・中学校にかかわらず、地域→支援学校への引継ぎができていない。
- ・ 地域の中学校ではこれまで臨海学校の下見をしたことがないと聞き、今回要望して行ってもらった。先生から「カッターに乗るような活動は出来ない」と言われ、みんなが活動している間はどの様なことをするのかと聞いたら、「海で遊びます」との返答。ところが当日、現地スタッフさんから「カッターに乗れますよ」と言ってもらえたので参加できた。下見時、先生は現地スタッフの方とどのようなお話をされてきたのか？それとも親が一つ一つ言わないといけないのでしょうか？
- ・ 教育委員会から、各学校の先生に対して具体的な指導内容を提示できたらいいのにと思います。
- ・ 中学校全体がそうなのか、通っている学校だけなのか分かりませんが『おはよう』と声を掛けてくれる先生がいない。先生方の心構え・環境は小学校とは空気が違うように感じます。
- ・ ある中学校の支援学級が良いと聞いて、見学に行きたいと思っているのですが、その中学校区の方しか行けないと聞きました。他校区の人は、見学させてもらえないのでしょうか？
- ・ 高校には、支援学級が無いので、今高校に通われている子どもさんがどの様に過ごされているのか見学に行きたいと、校長先生が高校に伝えたが断られたとのこと。勉強の為に高校へ見学にいけないのでしょうか？
- ・ 中学校の見学会は、学校から連絡が来るのでしょうか？親が連絡をするのでしょうか？見学会・体験の日程は決まっているのでしょうか？日程の日に行けない時は変更できるのでしょうか？
- ・ 中学校のプールで、『周りのお友達が飛び込みなどをするので危ない！怪我をするかもしれないのでプールの参加はどうしますか？』と言われた。プールの日程表すらもらえず、結局参加は見送った。
- ・ 障がい児も、中学生にもなると体力も強くなるので、プールなどで体力を使い発散させて欲しい。
- ・ 中学校と小学校の先生の引継ぎの話し合いに、教育委員会に間に入ってもらうことは出来ないのでしょうか？
- ・ 中学校では、障がいを持っている子はクラブに入ってはいけないのでしょうか？やっぱり難しいのでしょうか？

- ・先生は、オムツを使用していることを周りの生徒達に配慮無く言う。小学校の時はちゃんとトイレできていたのが、中学校では休憩時間が足りずオムツを使用している事を、先生からも生徒達に伝えて欲しい。
- ・小学校の林間活動に「介助員が1人に付いてられない。部屋も有料ですが取れますよ！」他、遠足の時も「何かあったら困るのでお母さんに来て欲しい。」といつも言われます。修学旅行も「介助員が付いていけるのか分からない。何かあったら困るのでお母さんが付いて来て下さい」と言われたのですが、本当に介助員は付けないのでしょうか？また、医療的ケアが必要ではないのに親が付いて行くことはあるのでしょうか？
- ・みんなでする活動がしんどいなら、その子どもに合わせた計画を立てて欲しい。何も考えないで『何かあったら困るのでお母さんに来て欲しい』と言われても納得できない。なぜついて行かないといけないのか、先生に尋ねてもいいのでしょうか？
- ・先生に、子どもがパニックになった時の対応などの基本的な勉強をしてもらいたい。事例研修会などの勉強をしていただきたい。
- ・介助員の先生に、こどもと一緒に進級・進学して欲しいと伝えてもいいのでしょうか？

この他にもご質問やご意見を頂きました。少人数の懇談会になったことで、隅埜先生と半仁田先生には丁寧にお話を聞いていただけましたし、親としての熱意や想いが伝わったことと思います。

隅埜先生からは『学校間・先生間での認識の違いもありますが、どの学校に通っても子どもに合った当たり外れのない支援が出来るように、今日頂いた意見を参考に指導していきたいです』とご意見をいただきました。

半仁田先生からは『市としては、小学校の6年間、中学校の3年間と区切ったものでなく、義務教育の小・中9年間プラス幼稚園・保育園というながいスパンで子ども達を見ていかないといけないと、改めて感じました。小学校⇄中学校の連携は進んでいないところがあるので、人権教育だけでなく指導担当等含めて考えていきたい』とご意見をいただきました。

隅埜先生と半仁田先生には大変ご多忙の中、当部会へのご協力に加え、皆さんの声を真摯に受け止め、質問にも丁寧にお答え頂けたこと、心より感謝申し上げます。最後に、ご参加頂いた幼児学齢部の皆様、ありがとうございました。